

□ 要請番号 (JL00918A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	G102 環境教育		個別	交替 2代目	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

住宅・地方自治省

2) 配属機関名 (日本語)

廃棄物管理清掃公社クアラルンプール支社

3) 任地 (クアラルンプール市) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (鉄道 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

廃棄物管理清掃公社(SWC Corp)は、2007年に設立されたごみ収集事業や公共清掃の実施監督機関。民間委託のごみ収集事業の管理監督や公共の清掃、ごみ埋立地プロジェクトへの関与、ごみの減量化やリサイクルの推進等が主な業務である。クアラルンプール支社では前任者が2017年3月まで活動していた。その他マレー半島4州の支所で青年海外協力隊(JV)が活動中である。マレーシアでは2015年9月から家庭ごみ分別回収が開始され、その徹底のために住民への啓発活動を実施し、2012年に12.5%であったごみリサイクル率を2020年に22%にすべくプログラムの充実に取り組んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ボランティアはクアラルンプール支社に勤務し、ごみの減量化のための環境教育キャンペーン実施、3Rの推進、各家庭へのコンポストの普及推進が主な業務となる。現在、マレーシアの廃棄物処理は焼却処分ではなく埋め立て処理をしており、ごみの総排出量は政府予想よりも速く、埋立地の確保などが大きな課題となっている。これまでの啓発活動により、住民の間では「分別する」という考えは根付きつつあるが、それを各自実践するまでには至っていない。前任者はウェブサーベイなどを実施し、啓発活動を行うだけではなく、住民のごみ分別に対する理解度を調査し、その根拠をもとに啓発プログラムの改善などに取り組み、評価された。今後もより効果的な啓発プログラムの企画立案と実施が期待されている。また日本における廃棄物処理の歴史や、住民の取り組みについて知見の共有を期待しての要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ボランティアはリサイクル促進課に配属され、以下の業務を行う。

- 3Rの推進。主に幼稚園や学校、市民グループへの3R推進のためのイベントの企画・運営を同僚と共に実施する。
- NGOや市民グループとの関係を強化し、地元住民主導による3R活動の定着を目指す提案を同僚と共に考える。
- 同僚と共にリサイクルのための家庭ゴミ分別回収の徹底に向けた住民への周知を行うとともに、より効果的な啓発プログラムの企画・実施を提案すべく、住民の意識調査等に取り組む。
- 同僚と共に学校や住民グループへの効果的な簡易コンポストの説明を考え、普及推進を企画提案する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ノートPC、プロジェクター等

4) 配属先同僚及び活動対象者

上司:女性(32歳 大卒 経験9年)

同僚:2名(男性2名)、年齢(30,35歳)、経験(9年)

5) 活動使用言語

マレー語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：行政オフィスでの勤務の為

[参考情報]：

- ・環境関連活動、企業等での営業などの経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】